

### 3) 海の森～藻場の保全・造成

◆海草・海藻が群落を形成する藻場は生物の餌場や棲息場となり、豊富で多様な海の生物を支え、水産資源の保全、海水や海底堆積物に対する浄化作用を持っています。海の生態系のバランス維持にとってとても重要な藻場は近年大幅に減少しています。

◆環境庁は第4回自然環境保全基礎調査において平成元年度から平成3年度まで藻場の調査を行っており、前回の第2回基礎調査（昭和53年度調査）からの約13年間に全国で3.2%にあたる6,403haの藻場が消滅したと報告しています。「渡島」の消滅比率は実に7.7%となり、全国の沿岸を91海域に分けた集計によると消滅面積は全国の5.3%を占めています。とても深刻な状況であり、今後の藻場の保全・造成は重要な課題となります。

海岸保全施設整備と共に海の草原や森にあたる藻場の保全・造成への配慮が必要です。

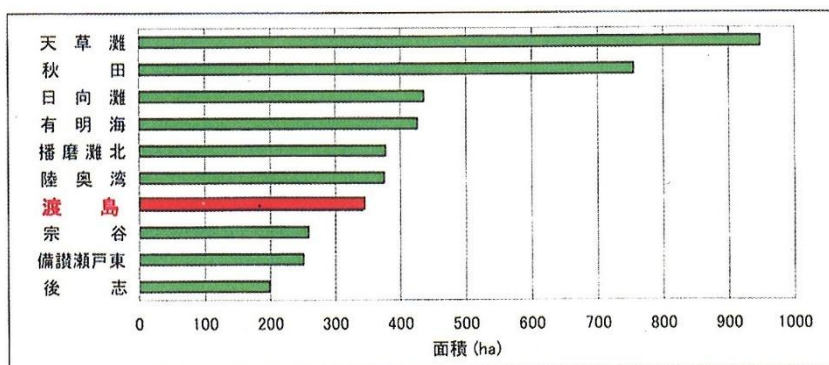
表－2 北海道の現存藻場及び消滅藻場面積総括表（海域別）

コード	海域	現存藻場 (ha)	消滅藻場 (ha)	消滅比率 (%)	消滅面積の全国割合 (%)
101	宗谷	6,100	258	4.1	4.0
102	網走	5,973	7	0.1	0.1
103	根室	6,027	3	0.0	0.0
104	釧路	10,263	0	0.0	0.0
105	十勝	236	36	13.2	0.6
106	日高	3,192	8	0.3	0.1
107	胆振	478	0	0.0	0.0
108	渡島	4,112	341	7.7	5.3
109	桧山	3,561	10	0.3	0.2
110	後志	1,159	198	14.6	3.1
111	石狩	585	4	0.7	0.1
112	留萌	1,481	108	6.8	1.7

資料－「第4回自然環境保全基礎調査 海域生物環境調査報告書」（環境庁自然保護局）より抜粋

<調査方法：地形図、空中写真からの読み取り及び既存資料の収集>

第2回自然環境保全基礎調査：1978年度調査実施、昭和56年度発行  
 第4回自然環境保全基礎調査：1989～1992年度調査実施、平成7年度発行



図－15 海域別消滅藻場面積（全国の上位10海域）

資料－「第4回自然環境保全基礎調査海域生物環境調査報告書」（環境庁自然保護局）

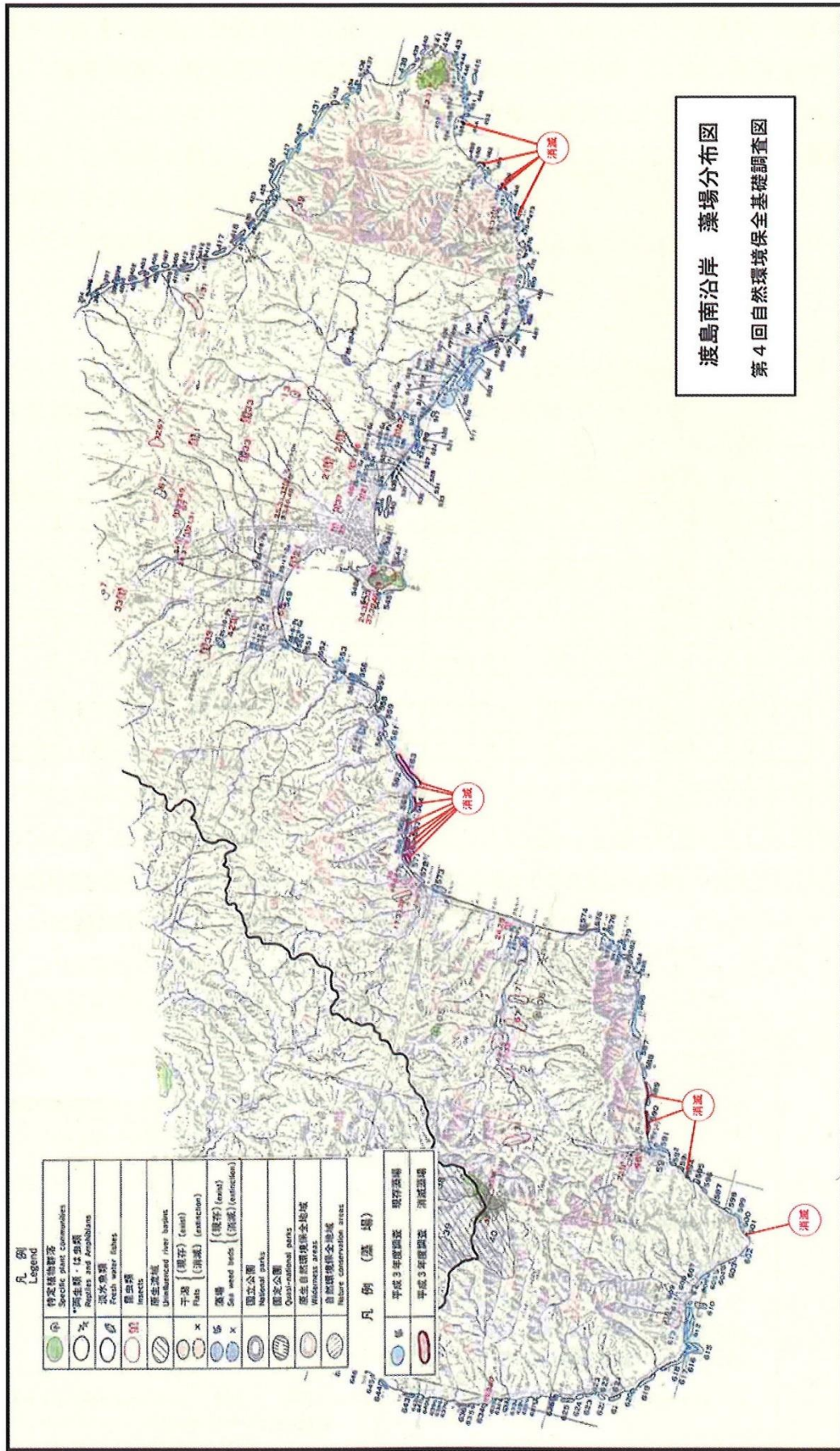


図-16 渡島南沿岸藻場分布図